

令和5年度 第6回常任理事会 議事録

日 時 令和5年10月21日(土) 10時00分

場 所 北海きたえーる研修室

出席者 印藤智一、丸山道博、齊藤幸治、太刀川建一、
藤原 正、石崎 賢、川崎尚子、笹森恭之、
多田吉宏、佐見洋治、辻井淳一、
嵯峨亘道(議事録)

〈進行：佐見常任理事〉

1 開 会

議事署名人に印藤理事長のほか、笹森常任理事、佐見常任理事が指名された。

2 理事長あいさつ

ヴィンテージ8全国大会が無事終了した。全国から多くのチームに参加いただき、開催地の函館協会の協力でスムーズな運営が図れ、関係者に感謝申し上げる。

本日は、理事会に向けた審議のほか、法人化の準備についても協議いただくので、忌憚のない意見をお願いします。

3 協議事項

(1) 第3回理事会の開催について

※12月9日(土) 13時30分から、北海きたえーるで開催予定。

①令和5年度 各委員会事業実施状況について(齊藤総務委員長)

第3回理事会に向けて各委員会事業の実施状況について、次回常任理事会で協議するので、11月3日までに資料作成するよう依頼がなされた。

②令和5年度 一般会計・特別会計執行状況について(齊藤総務委員長)

9月30日現在の一般会計収入の部では、令和4年度決算とVリーグ受託収入を売掛金として令和5年度に繰越した繰越金や各地区協会等からの登録チーム数に基づき入金された基本金、令和4年度に単価改定を行った賦課金などにより、収入済計1,592万560円となり順調に推移している。

一方、支出の部では、今後支出が見込まれる費目もあるが、納入金、事業費、総務委員会費、会議費、旅費、助成費は、予算超過の費目もなく、順調に推移しているほか、収益事業実施に伴う、会計・税務処理委託料やVリーグ受託収益による過年度分の法人税・法人道市民税の納付などにより、支出済計1,415万6,120円となった。

次に、特別会計では、令和4年度に特別事業等基金を財政調整基金と統合し、強化育成基金との2基金とした。

財政調整基金では、支出はなく、繰越金に預金利息を加えた900万43円で推移している。

また、強化育成基金では、基金統合等による繰越金に預金利息を加えた収入から、3期1年目となる国体少年強化対策事業160万円を支出し、1,711万7,900円で推移している。

これら執行状況は、本日実施する令和5年度中間監査で監事に説明する。

③高校新人大会の開催について（石崎競技委員長）

令和6年2月2日から4日の日程で苫小牧市総合体育館等を会場に開催する準備を進めている。

国体スケート競技と日程が重なっており、宿泊先の確保が課題となっている。次年度開催地は函館市となっているが、それ以降の開催地は検討中である。

④その他

・日本協会公認講師認定講習会について（笹森指導普及委員長）

JVAから日本協会公認講師認定講習会の案内があった。今年度は、家近昭彦氏を道協会から推薦し、今後はビーチやソフト等、カテゴリーを広げて人選していくことも検討したい。

(2) 高校選手権大会北海道代表決定戦の開催について（石崎競技委員長）

高校選手権大会については、10月28日の抽選会に向け準備を進めている。

4 報告事項

(1) 日本協会関係（印藤理事長）

今シーズンのVリーグが開幕した。次年度からSVリーグに移行し新リーグがスタートする。

道協会ではデンソーエアリービーズ・ヴォレアス北海道・北海道イエロースターズ・アルテミス北海道のホームゲーム運営についてしっかりと対応する。

(2) 各委員会関係

・総務委員会（齊藤総務委員長）

Vリーグホームゲーム等で使用するポケットWi-Fiを購入した。救急バックも用意したので各種大会等で活用して欲しい。

次回常任理事会は、11月11日（土）の10時から北海きたえーるで開催する。

2月開催の常任理事会も2月17日（土）の10時から北農健保会館で開催することに変更するので留意願う。

・競技委員会（丸山副理事長）

ヴィンテージ8全国大会が5会場、13コートで93チームが参加して開催された。怪我による負傷もあったが、地元中学生の補助役員の協力もありスムーズな運営が図られた。

・審判委員会（川崎審判委員長）

日B審査会に15名が受講し全員合格点に達した。次回常任理事会で名簿を提出し、第3回理事会に報告したうえで、1月1日付けで承認する予定。

・強化委員会（太刀川強化委員長）

基金を活用した強化練習会が無事終了した。国体少年では、男子が1回戦を突破し、女子はベスト4に入り、素晴らしい結果となった。

JOC 壮行会は、12月9日の第3回理事会前に北海きたえーるで開催予定。
コロナで開催を見送っていた男子の選抜強化合宿の開催を準備中。今回はより多くのチーム参加してもらうため、札幌の各高校を会場とした。

・指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

2次ジュニアキャンプの準備を進めており、男女ともにコロナ制限なしの選手・チーム数に戻して実施する予定。

・高体連（藤原常任理事）

高体連の登録者数においては男子が女子を上回った。北海道では女子の競技者数が激減しており、減少率は全国一顕著な状況。

・ヤング連（辻井常任理事）

全国ヤングクラブ優勝大会が9月30日・10月1日に門真市・和歌山市で開催され、男子はヴォレアス北海道ジュニア、女子は渡島合同 VBC RISING W が参加した。

部活動の地域移行に係る日本ヤング連のスタンスとしては、中体連の動向を注視しながら現行どおり対応していくとのこと。

・中体連（佐見常任理事）

部活動の地域移行については、各方面ともに動きがない状況。

中標津町で中体連の指導者講習会を開催したほか、各地区専門委員長にピギナーズカップ開催を打診中。

（質疑）

・高校生女子競技者の減少が顕著との話もあるが、中学生女子の状況は？
⇒全国的に男子は「高校で始めてみよう」、女子は「中学校でやめよう」という傾向が、地方・都市に拘わらず伺える状況。

5 その他

・11月25日・26日に開催するデンソーホームゲームのインナー販売を行う。

小中学生の観戦招待についても調整中。

・今後も暴力・ハラスメント撲滅について対応して行く。各種大会プログラムへの啓発広告を引き続き掲載願う。

6 閉 会

【次回：令和5年11月11日（土）10時～ 北海きたえーる】

議事録署名人

理 事 長

印 藤 智 一

議事録署名人

笹 森 恭 之

議事録署名人

佐 見 洋 治